

開館 60 周年 神奈川県立近代美術館 県立機関活用講座
「現代音楽の展開：1951 - 2011」

神奈川県立近代美術館 葉山では、7月23日から10月2日まで「開館 60 周年 現代美術の展開—ザ・ベスト・コレクション」展を開催します。本展に合わせ、1950年代から今日に至る現代美術の歩みと深く関わりのあった同時代の現代音楽をテーマに、全5回の連続講演会「現代音楽の展開：1951-2011」を開講します。第一線で活躍する音楽家たちを招き、それぞれの体験を踏まえつつ、音（サウンド）による現代音楽の可能性について語りつないでいく試みです。

【第1回】「実験工房と音楽」

8月6日(土) 午後3時-5時



講師：湯浅 譲二 (作曲家)
ゆあさ じょうじ

1929年福島県生まれ。少年期より音楽活動に興味をおぼえ独学で作曲を始める。1949年慶應義塾大学医学部教養課程に入学。在学中より秋山邦晴、武満徹らと親交を結び、1951年「実験工房」に参加、作曲に専念する。以来、オーケストラ、室内楽、合唱、劇場用音楽、インターメディア、電子音楽、コンピュータ音楽など、幅広い作曲活動を行っており、国内はもとより、世界の主要オーケストラ、フェスティバルなどから多数の委嘱を受けている。2010年、国際現代音楽協会 (ISCM) 名誉会員に推挙される。

photo ©Akira Muto

【第2回】「1960年代の音楽と現在」

8月20日(土) 午後3時-5時



講師：一柳 慧 (作曲家/ピアニスト)
いちやなぎ とし

1933年兵庫県生まれ。1950年代渡米後、ジョン・ケージらと実験的音楽活動を展開し、1961年帰国。偶然性の導入や図形楽譜を用いた作品など、作曲、演奏の両方で意欲的に活動。日本音楽界の中心として、自作ならびに欧米の新しい音楽の紹介、伝統楽器群や声明を用いた新しい視点によるプロデュース活動他で様々な分野に強い刺激を与えている。現在、公益財団法人神奈川芸術文化財団芸術総監督。

【第3回】「サウンドによるパフォーマンスとは？」

9月3日(土) 午後3時-5時



講師：鈴木 昭男 (サウンド・アーティスト)
すずき あきお

1941年平壤生まれ。1963年より自然や環境の音を探る「なげかけ」と「たどり」の自修イベントを始める。70年にエコー楽器《ANALAPOS (アナラポス)》を含む創作楽器の制作を始める。1970年代後半から1980年代にかけてコンセプチュアル・サウンドワークと称されるパフォーマンスを展開、「ドクメンタ 8」(1987)など多くの世界的な美術展や音楽祭に招聘される。サウンド・アートの先駆的存在として知られ、現在まで世界各国で数多くの音と場の探求を行っている。
www.akiosuzuki.com/

【第4回】「啓かれた耳 伝統と現代」

9月17日(土) 午後3時-5時



講師：佐藤 聡明 (作曲家)
さとう さとみ

1947年宮城県生まれ。18歳の頃から独学で作曲を始め、1960年代末からマルチメディア作品に取り組むようになる。1983年、アジアン・カルチュラル・カウンシルの招きでニューヨークに1年間滞在。1988年、CD作品集「リタニア」がニューヨーク・タイムズの年間ベスト・レコードに選ばれる。1997年ニューヨーク・ダンス・アンド・パフォーマンス賞を受賞。その作品はアメリカを中心にヨーロッパ、環太平洋諸国など幅広く演奏されている。著書：『耳を啓く』(2006年、春秋社)。

【第5回】「メディアアートと音楽の新たな地平」

10月1日(土) 午後3時-5時



講師：佐近田 展康 (音楽家/メディアアーティスト/メディア論研究者)
さこんだ のぶやす

1961年兵庫県生まれ。神戸大学大学院文学研究科修士課程修了。コンピュータとプログラミング環境 Max/MSP/Jitter を駆使した音楽活動を展開し、「機械の考古学」という独自の視点で音楽作品、メディア・アート作品を発表している。三輪眞弘とのユニット「フォルマント兄弟」でも活動し、Ars Electronica 2009 (オーストリア) 入賞のほか、ロンドンはじめ各地で公演を行っている。現在、名古屋学芸大学メディア造形学部映像メディア学科教授。

<http://web.mac.com/nsakonoda/sakoweb/top/top.html>

申込方法については裏面をご覧ください。

- ◇ 会 場 : 神奈川県立近代美術館 葉山講堂
- ◇ 日 時 : 2011年8月6日(土)、8月20日(土)、9月3日(土)、9月17日(土)、10月1日(土)
(全5回) 各回午後3時-5時
- ◇ 定 員 : 各回70名(要申込)。定員を超えた場合は抽選になります。
- ◇ 受 講 料 : 各回1,000円(全回5,000円) 1回~5回の任意の回数で申込み可能
- ◇ 申込方法 : 受講希望の日、住所、氏名、電話番号、FAX番号、メールアドレスをお書きの上、
メール・FAX・往復はがきのいずれかでお申込みください。
(FAXでお申込みの際は下記のフォームにご記入ください。)
- ◇ 申 込 先 : 〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1
神奈川県立近代美術館 葉山 管理課「県立機関活用講座」係
FAX:046-875-2574
Eメール: public@moma.pref.kanagawa.jp
- ◇ 申込締切 : 各開催日の10日前。ただし定員に達していない場合は締切後も受け付けます。

※講師・講演内容は変更される場合があります。

◆FAX申込み用紙◆ FAX:046-875-2574 神奈川県立近代美術館「県立機関活用講座」係 行き

※下の欄にご記入の上、切り取らずに送信してください。

お申込み回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
希望回に○をつけてください。	8/6	8/20	9/3	9/17	10/1

お名前(ふりがな)

ご住所 〒

電話番号

FAX番号

メールアドレス

『開館60周年 現代美術の展開ーザ・ベスト・コレクション』

2011年7月23日(土) - 10月2日(日)

神奈川県立近代美術館 葉山

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

主催：神奈川県立近代美術館

- 休館日：月曜日(9月19日は開館)
- 開館時間：午前9時30分-午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料：一般700円(600円)、20歳未満と学生550円(450円)、
65歳以上350円、高校生100円
* () 内は20名以上の団体料金
* 中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料です。
- ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日
会期中の8月7日、9月4日、10月2日は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。
- 担当学芸員によるギャラリートーク：日時：7月29日(金)、8月5日(金)
各回午後2時-午後3時
申込不要、無料(ただし「現代美術の展開」展の観覧券が必要です)

◇ 交通案内 [公共交通機関利用の場合]

JR 横須賀線「逗子駅」または、京浜急行線「新逗子駅」から京浜急行バス葉山・一色海岸行きで18分「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車(美術館正面)



若林奮《中に犬・飛び方》
1967年 鉄



お問い合わせ先

神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1
TEL: 046-875-2800 (代表) / FAX: 046-875-2574



←当館モバイル
サイトはこちら